



組織からのシングルセル解析と空間解析 新製品セミナー

日時：2022年8月2日（火）17：00 – 18：00

場所：オンライン(ZOOM)

申込URL：<https://bit.ly/3yW2VI3>

※申込フォームに入力された内容は10X Genomics社へ送信されます
※取得した個人情報は今回の目的以外には使用しません



こちらからもご登録いただけます

Chromiumを用いた シングルセル解析

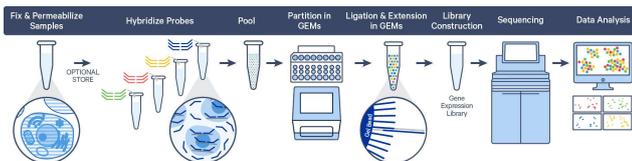
手術検体等の凍結保存したサンプルは細胞分散が不可能な為、核抽出でシングル核RNA-seqを行う必要がありましたが、核抽出にも多くの困難がありました。

新製品の核抽出キットは特別な機器を必要とせず1時間ほどの作業時間と3回の遠心ステップで新鮮または凍結組織から核抽出ができます。

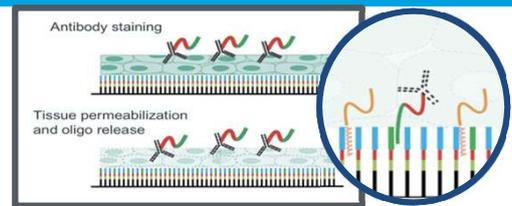
また、従来の手法を用いたシングルセル解析は、細胞内のRNAの品質を保つ為にできるだけ早く生存率よく細胞を分散しcDNAを作る必要があります。多くの困難を伴いました。

新製品のFixed RNAキットは新鮮または凍結組織を4%ホルマリンで組織と共にRNAの状態も固定した後、ゆっくりと細胞を分散させてシングルセル解析を行います。

これら新製品を紹介しつつ、最新のシングルセルデータを活用した論文例も紹介させていただきます。



Visiumを用いた 空間的遺伝子発現解析



形態学的特徴を考慮に入れて遺伝子発現を評価することは、生物学を理解する上で、また疾病の病態を理解する上で非常に重要です。Visium Spatial製品はパラフィン包埋組織切片の全トランスクリプトームを、位置情報を残した形でマッピングすることができます。今回ご紹介させていただく新製品Visium FFPE プロテインでは従来のキットでは解析できなかったタンパク情報も全トランスクリプトームと共に得る事ができるようになりました。このような高い解像度で得られた情報は腫瘍学、免疫学、神経科学、発生生物学分野などにおいて深い考察を可能にし、トランスレーショナルリサーチを含む多くの研究での新発見が期待されます。本セミナーでは、10x Genomics社のVisium Spatial製品がどのようにして高解像度な解析を可能にするか、その原理をご紹介すると共に、データ解析ソフトLoupe Browserのデモ実演も交えてご紹介します。

お問い合わせ

10X Genomics
Territory Sales Manager 金澤 秀明
hideaki.kanazawa@10xgenomics.com

共催

自然科学研究支援開発センター
機器共用・分析部門(霞) 機器共用・分析部

申込フォームに入力された情報は共催業者データベースへ登録されることを予めご了承ください。